

事務連絡
平成23年8月5日

報道機関各位

青森県健康福祉部保健衛生課長

放射性物質に汚染された稲わらを給与した可能性のある
牛の肉の流通調査について（8月5日判明分）

宮城県、岩手県から出荷された放射性物質に汚染された稲わらを給与した可能性のある牛の肉の流通状況調査を実施していたところ、当該牛肉が本県に流通していたことが判明しました。

なお、個体識別番号：10311-01889 については8月5日（金）栃木県が放射性物質検査を実施した結果、食品衛生法の暫定規制値を下回る放射性セシウム 291Bq/kg が検出されています。

と畜日	個体識別番号	出荷先と畜場	重量	販売先	販売量等	検査結果 (Bq/kg)			食品衛生法の判定
						放射性ヨウ素	放射性セシウム		
						ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	
7/4	10311-01889	仙台市ミートプラント	4.4kg	弘前市 飲食店営業	2.18kg 販売 2.22kg 保管	検出されず	291 (栃木県による検査)		適合
6/7	12525-95993	仙台市ミートプラント	46.8kg	五所川原市 食肉販売業	全量 販売済	—	—	—	—
6/14	03686-18138	東京都立芝浦と場	47.1kg	五所川原市 食品小売業	全量 販売済	—	—	—	—
食品衛生法の暫定規制値						なし	500		

【参考】人体への影響の試算（食品安全委員会 HRP より抜粋）

500Bq/kg の放射性セシウムが検出された牛肉を1kg 食べた場合の人体への影響は、 $500 \times 1.6 \times 0.00001 = 0.008\text{mSv}$ となります。

0.008mSv の人体への影響は、今回の原子力発電所事故による影響を除いた、自然放射性物質の摂取による年間実効線量（日本平均0.4 mSv 程度）の約50分の1です。

報道機関用提供資料 発表No. 23-号外	
担当課・担当者	保健衛生課 食品衛生グループ 担当者 新谷総括主幹
電話番号	内線 6274/6275 直通 017-734-9214
報道監	健康福祉部 藤岡次長（内線6203）

食品の放射性物質検査について

NO	実施主体		産地		農場等採取 ／流通品	食品 カテゴリ	品目	ハウス・露地 (個体識別番号)	検査機関	採取日 (購入日)	結果 判明日	厚労省 公表日	結果(Bq/kg)		
	主体	部局	都道府県	市町村									ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
1	青森県	健康福祉部	秋田県	-	と畜場採取	肉	牛肉	02471-19510	横浜検疫所	H23.8.3	H23.8.5	H23.8.5	ND		781
2	青森県	農林水産部 局	青森県	八戸港	三沢沖で採捕	水産物	スルメイカ	-	(独)水産総合研究セン ター中央水産研究所	H23.8.1	H23.8.5	H23.8.5	ND		ND